

ControlSpace® CC-64 Control Center

設置ガイド

この度は ControlSpace® CC-64 Control Center をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの設置ガイドをよくお読みください。また、必要なときにすぐご覧になれるように大切に保管しておくことをおすすめいたします。



※説明の便宜上、イラストは実物と異なることがあります。

安全上の留意項目

ご使用前に、下記の「留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。



△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです(左図の場合は分解禁止を意味します)。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。






●異常が発生したとき

		変なにおいや音がしたときは、すぐに電源プラグを抜く そのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。
		内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源プラグを抜く そのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に点検をご依頼ください。特にお子様がいらっしゃるご家庭ではご注意ください。
		電源コードや電源プラグが傷んだ場合は交換する 電源コードや電源プラグが傷んだ状態(芯線の露出、断線、変形など)で使用すると、火災や感電の原因となります。販売店に交換をご依頼ください。
		落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグを抜く そのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に点検をご依頼ください。




●設置、保管するとき





		水の近くまたは湿度の高い場所で使用しない 機器内部に水が入った場合、火災や感電の原因となります。
		風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所には置かない 機器内部に水が入った場合、火災や感電の原因となります。
		電源コードを傷付けない 電源コードを傷付けたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したり、上に重い物を乗せたりしないでください。ケーブルが破損して、火災や感電の原因となります。特に、電源プラグ部分やコードが本体から出ている部分はお気を付けてください。
		配線および取付けは、取扱説明書に記載してある通りに行う 配線および取付けは、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線、取付を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。
		指定された仕様の機器を使う メーカーが指定した仕様の機器を使用してください。火災や感電の原因となります。

●設置、保管するとき

 注意	 <small>禁止</small>	高温の場所に置かない 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所、熱源のそばなど、温度が異常に高くなる場所に機器を設置・保管しないでください。過熱や部品の変形などにより、火災や感電の原因となることがあります。
	 <small>禁止</small>	ほこり、油煙、湯気、湿気、高温の場所に置かない ほこり、油煙、湿気が多い場所や、直射日光の当たる場所、直接ライトが当たる場所、高温になる車の中などには置かないでください。故障の原因となります。
	 <small>必ず実行</small>	ケーブルの芯線は全てしっかりと撚りを掛けた上で、確実にコネクター内へ結線する 撚り線の一本が外れるなどして隣り合った端子に接触すると、ショート事故が起こる危険性があります。
	 <small>注意</small>	ゴムやビニール製品に本体を長期間接触させない 外装が変質し跡が残ることがあります。

●使用するとき

 警告	 <small>接触禁止</small>	雷が鳴り出したら、本体やケーブル類に触れない 感電の原因となります。
	 <small>分解禁止</small>	本体のカバーを外したり、分解や改造をしない 火災や感電、けがの原因となります。内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

 注意	 <small>電源プラグを抜く</small>	お手入れのときは電源プラグを抜く 安全のため、お手入れは電源プラグを抜いてから行ってください。感電の原因となることがあります。
	 <small>電源プラグを抜く</small>	配線時は電源プラグをコンセントから抜く 電源プラグをコンセントに差したまま行くと、感電の原因となることがあります。
	 <small>必ず実行</small>	定期的に内部の掃除をする 5年に一度程度を目安に、機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま長時間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気が多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

本機は、FCC 基準 Part15 に準ずる Class B デジタル機器の制限事項に適合するための試験に合格しています。これらの制限事項は、居住地域での設置時に生じる有害な電波障害を適切に防止するために制定されたものです。本機器は無線周波数エネルギーを生成、使用し、これを放射することがあります。指示に従った設置と使用を行わない場合、無線通信に障害を起こすことがあります。しかし、特定の設置状況において電波障害を起こさないことを保証するものではありません。本機器の電源を入切する事によって、本機がラジオやテレビの受信に障害を与えていると判断された場合、以下の方法にて障害が解消されるかをお試しください。

- ・ 受信アンテナの方向や設置場所を変更する。
- ・ 本機器を受信機と別系統の電源回路に接続する。
- ・ 本機器と受信機の距離を遠ざける。
- ・ 必要に応じて、販売店または経験のある無線/テレビの専門技術者に相談する。

本製品は、カナダの ICES-003 Class B 仕様に準拠しています。

Introduction

はじめに

Bose® ControlSpace® CC-64コントロール・センターは、ControlSpaceシステムのエンドユーザーにシンプルでロジカルな操作環境を提供する、プログラム可能なネットワークコントローラーです。CC-64の機能は簡単にプログラムすることが可能で、エンドユーザーへ必要最低限の操作環境を提供し、ユーザーインターフェースを極力シンプルに設定するなど、ControlSpaceシステムを自由にカスタマイズすることが可能です。

CC-64はLEDインジケーター付きのロータリーエンコーダーを4基装備しており、ユーザーフレンドリーなゲイン調整やセレクター操作の環境を提供します。また、5つ目のロータリーエンコーダーでは、あらかじめ設定されたシーンやプリセットを簡単に切り替えることもできます。パネル右側には4基のバンクセレクトボタンも備えており、4バンク×4エンコーダーにより、最大16のゲイン/セレクターを瞬時に操作することが可能です。パネル中央には40文字×2行の大型LCDディスプレイを搭載しており、エンドユーザーは操作するゲインやプリセットなどの名前を確認することができます。

CC-64のカスタムプログラム機能を使用すれば、オーディオソースやシーンの選択、システム設定など、ControlSpaceシステムの様々な要素を管理することができます。またゲインを操作する場合、システム内のゲインを最大で16ゲイン同時に操作することも可能です。さらにCC-64は、“カスタムモード”という機能を搭載しています。これはエンドユーザー向けではなく、システムの管理者向けの機能で、ある操作を行うことにより、ゲインやセレクター以外の様々なパラメーターを表示/変更することが可能となります。

CC-64はControlSpace ESP-88/ESP-00と10Base-TのEthernetで接続します。1台のESP-88/ESP-00で、CC-64を最大16台併用することができます。

Introduction

CC-64の機能と特徴

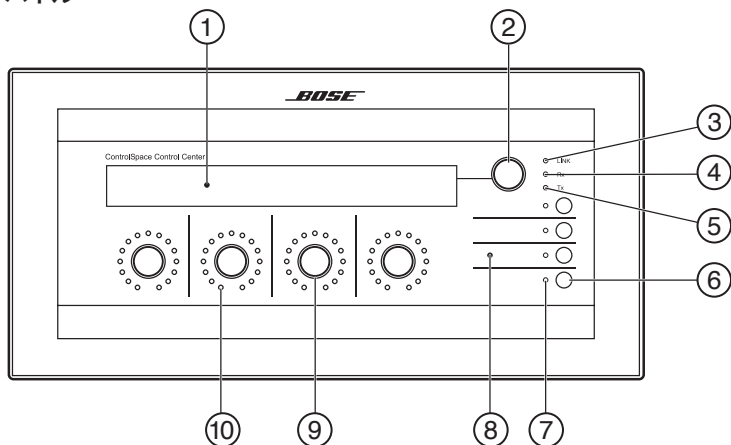
- 40文字×2行のバックライト付きLCDディスプレイ。
- 計16通りのゲイン/セクターを瞬時に操作することが可能。
(4バンク×4ロータリーエンコーダー)
 - ・ゲイン調整や、シーン/ソースを選択するための4基のロータリーエンコーダーを搭載。
 - ・ロータリーエンコーダーは各々15素子のLEDインジケータを装備。ゲインのレベル値などを視覚的に確認することが可能。
 - ・ロータリーエンコーダーはプッシュ機能も持ち、シグナルのミュート、あるいはセクションの決定が可能。
 - ・LCDディスプレイにはロータリーエンコーダーの操作対象となるソース名称を最大10文字で表示。
- 4基のバンクセレクトボタンを装備。ボタン脇にはラベルを貼り付けることも可能。
- 不用意な操作を防ぐロック機能。
- ESP-88/ESP-00と10Base-TのEthernetで接続。
- 1台のESP-88/ESP-00でCC-64を最大16台併用可能。
- 電源アダプターまたは、Ethernetケーブル経由での電源供給にも対応。
- Ethernetとのリンク/データ送受信ステイタスを表す3つのLEDインジケータを装備。

内容物

- ・ CC-64本体 × 1
- ・ フロントパネル × 1
- ・ CAT-5 LANケーブル(2m) × 1
- ・ ユーロブロックコネクタ (2ピン) × 1
- ・ 取付ネジ(#6-32インチサイズ) × 4

Front Panel

フロント・パネル



機能

1. LCDディスプレイ
2. プリセット/シーン・セレクター
ノブを回してプリセットを選択し、押して確定します。
5秒間長押しすることでカスタムモードに入ることができます。
3. LINKインジケータ
4. Rx(ネットワーク受信)インジケータ
5. Tx(ネットワーク送信)インジケータ
6. バンクセレクトボタン(4)
4つの中から任意のボタンを押してバンクを選択します。
7. バンクセレクトインジケータ (4)
現在選択されているバンクのインジケータが点灯します。
8. バンクの名前を記すためのラベルエリア(4)
必要に応じて横31mm 縦9mmのラベルを貼ることができます。
標準的な9mm幅のラベル(テープ)を利用することができます。
9. ゲイン/セレクターコントロールノブ(4)
エンドレス・タイプのロータリーエンコーダーです。
押すことでミュートできます。
10. ゲイン/セレクター・レベルインジケータ (4)
現在のゲイン/セレクターを15段階のLEDランプで表します。

Installation

設置ガイド

CC-64の他に必要となるもの(別売)

- 5連サイズジャンクションボックス
- RJ-45端子を取り付けたUTP準拠のCAT-5ケーブル
(Ethernetで使用するための標準的な配線のもの)
- Ethernetハブ
- 電源アダプター (CC-64には含まれていません)

※詳細は14ページの仕様をご参照ください。



警告

電源アダプターは240VA以下のものをご使用ください。

STEP 1: ケーブルの配線

CAT-5ケーブルをハブ/ルーターからCC-64を設置する場所まで引きます。同様に2芯の電源ケーブルを電源アダプターからCC-64を設置する場所まで引きます。CAT-5ケーブル経由で電源を供給する場合は、電源ケーブルは必要ありません。

STEP 2: 設置方法について

CC-64はラックや演壇への取り付け、あるいは壁面への埋め込みに対応しています。CC-64を壁面に埋め込む場合は、14ページの仕様をご参照の上、5連サイズのジャンクションボックス等をご使用ください。

STEP 3: 各ケーブルの接続

CAT-5ケーブルをCC-64のRJ-45端子に接続し、CC-64、ESP-88/ESP-00とPCを同じハブ/ルーターに接続します。Ethernetの配線が終わったら、CC-64へ電源ケーブルも接続します(CAT-5ケーブル経由で電源を供給する場合は、接続する必要はありません。この場合、CC-64のリアパネルを取り外して、内部ジャンパーの設定を変更する必要があります。詳細は9ページを参照)。そして付属の取付ネジを使用してジャンクションボックスへCC-64を取り付けます。

STEP 4: ControlSpace® Designer™ソフトウェアによるプログラム

PC上でControlSpace® Designer™ソフトウェアを使用して、CC-64の機能をプログラムします。この作業を行うにはESP-88/ESP-00が接続され、使用できる状態でなければなりません。詳しくはControlSpace® Designer™ソフトウェアのユーザーガイドを参照してください。

注意

製品の機能を熟知した業者による工事・調整をおすすめします。

Connections

壁面への取り付け

CC-64は、5連サイズのジャンクションボックス等を使用して、壁面に埋め込み設置することができます。14ページの製品仕様をご参照の上、適切なジャンクションボックスを別途ご用意ください。埋め込む位置については、実際にユーザーが操作することを想定して決定してください。出来ればLCDディスプレイが目の高さに合う位置に埋め込むとよいでしょう。

⚡ 注意	CC-64をAC電源のコンセントボックスには取付けないでください。
	Ethernet経由で電源を供給する場合、CAT-5ケーブルの絶縁が必要条件を満たしているか不明のときは、決して工事を行わないでください。この場合は工事の前に必ず業者か専門家に相談してください。

Ethernetの接続

CC-64は標準的な10Base-TのEthernetを採用しており、その接続には一般的なノンシールドタイプのCAT-5ケーブルが使用できます。ESP-88/ESP-00が1台、そしてCC-64も1台というシンプルなシステムでは、クロスオーバーケーブルを使用して両機を直接繋ぐことができます。しかしこのようなシンプルなシステムでも、ControlSpace® Designer™ソフトウェアでプログラムを行うという場合は、PC、ESP-88/ESP-00とCC-64を同時に接続するためのハブとストレートケーブルなどが必要となります。

電源アダプターについて

CC-64はその動作に、最低で15VDC/300mAの電源を必要とします。安定動作のために、機器を設置する場所にしっかりとした電源を確保することを推奨します。

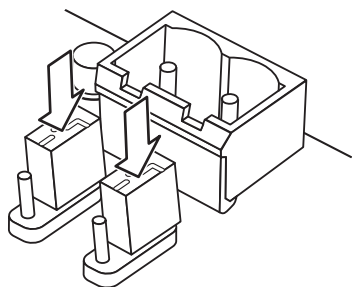
CC-64は直接繋いだ電源ケーブル、あるいはEthernetケーブル経由で電源を供給することができます。電源ケーブルのAWG規格のゲージサイズは、その長さに依存します。電源アダプターからCC-64の設置場所が離れていて、長い電源ケーブルを使用しなければならない場合は、電圧の低下を防ぐために、低いゲージサイズの電源ケーブルを使用するようにしてください。

⚡ 注意	同一の電源ケーブルに複数の(2つ以上の)電源アダプターを繋がないでください。CC-64や電源アダプターは、電圧がわずかに異なるだけでも故障する可能性があります。
------	--

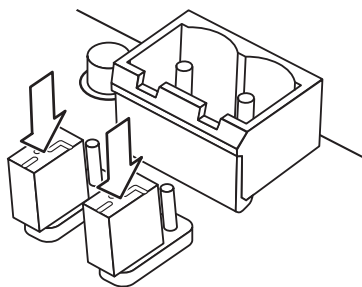
Connections

電源の供給元の設定

CC-64の電源は、2ターミナルのフェニックス端子に電源アダプターを繋いで直接供給するか、あるいはEthernetケーブル経由で供給することが可能です。工場出荷時状態のCC-64はフェニックス端子から電源を受ける設定になっていますので、Ethernetケーブル経由で電源を供給したい場合はCC-64背面の4つのネジを外してリアカバーを開け、下図に従って2つのジャンパーの設定を変更します。



フェニックス端子から
直接電源を供給する設定 (工場出荷時状態)



Ethernetケーブル経由で
電源を供給する設定

RJ-45端子のピン配列

下の表はCC-64のRJ-45端子のピン配列 (ケーブルの線の配列) を表したものです。

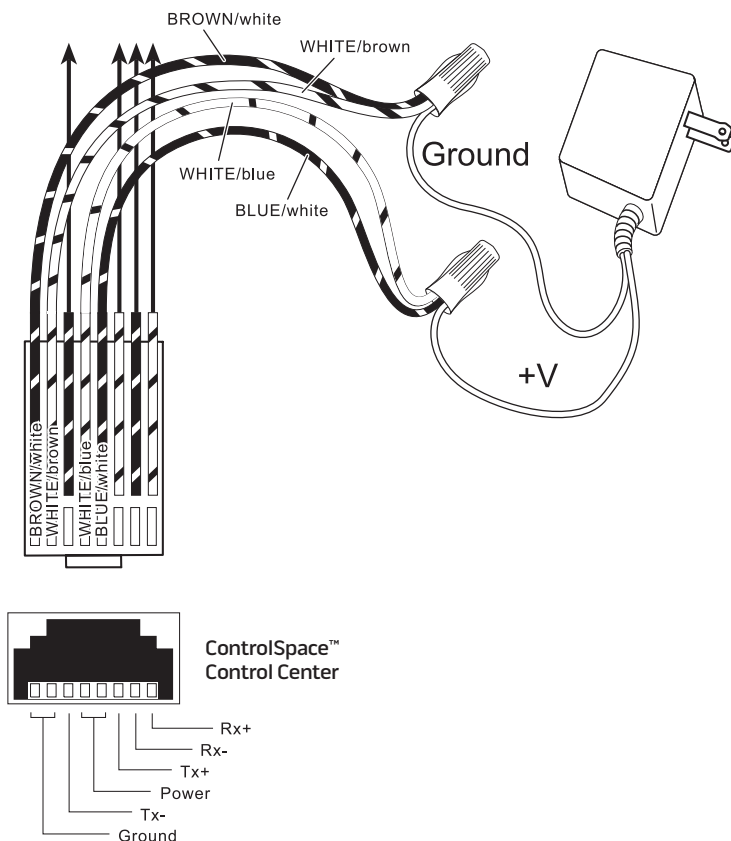
RJ-45端子のピン配列

RJ-45 ピン	色	機能
1	白色 / 橙色	データの送 (+)
2	橙色 / 白色	データの送 (-)
3	白色 / 緑色	データの受信 (+)
4	青色 / 白色	電源 (オプション)
5	白色 / 青色	電源 (オプション)
6	緑色 / 白色	データの受信 (-)
7	白色 / 茶色	アース (オプション)
8	茶色 / 白色	アース (オプション)

Connections

CAT-5ケーブルへの電源アダプターの配線

Ethernet接続用のCAT-5ケーブルへの電源アダプターの配線は下図のとおりに行います。電源アダプターケーブルのアース用の線は、CAT-5ケーブルの茶色/白色および白色/茶色の線に配線します。また電源アダプターケーブルの電源用の線は、CAT-5ケーブルの青色/白色および白色/青色の線に配線します。



注意

Ethernetケーブル経由でCC-64に電源を供給する場合は、茶色の線1組と青色の線1組(計4線)を必ず断線してください。断線しない場合、ルーターをはじめとするEthernet上の他の機器を破損してしまう場合があります。PoE規格ではありませんのでご注意ください。

Troubleshooting

電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">・ CC-64に電源アダプターが接続され、コンセントにしっかりと差し込まれているか確認してください。・ 最低でも15VDC/300mAの電源が供給されているか確認してください。・ Ethernet経由で電源を供給している場合、内部のジャンパーが正しく設定されているか確認してください。
LCDディスプレイに何も表示されない	<ul style="list-style-type: none">・ 適当なボタンを押すとバックライトが点灯します (LCDディスプレイのバックライトはしばらく操作がなかったとき、自動的に消灯する仕様になっています)。
ロータリーエンコーダーを操作しても何の反応もない	<ul style="list-style-type: none">・ ControlSpace® Designer™ソフトウェアで、ゲイン/セレクターのパラメータが正しくプログラムされているか確認してください。・ ControlSpace® Designer™ソフトウェアで、各コントロールがシグナルプロセッシングモジュールとリンクされているか確認してください。・ CC-64のネットワークアドレスと、ControlSpace® Designer™ソフトウェア上で設定されているネットワークアドレスが一致しているか確認してください。・ ControlSpace® Designer™ソフトウェアからESP-88/ESP-00に新しいプロジェクトがダウンロードされていないか確認してください。
ロータリーエンコーダーを操作してもLCDディスプレイの表示に変化がない	<ul style="list-style-type: none">・ ESP-88/ESP-00との接続を確認してください (ESP-88/ESP-00とCC-64を直接繋いでいる場合は、クロスオーバーケーブルを使用しているはずですが、あるいはPCや複数のCC-64を同時に接続している場合は、ハブを経由してストレートケーブルを使用しているはずですが)。・ LINKインジケータが点灯しているか確認してください (LINKインジケータは他の機器とEthernetで確実に接続されている際に点灯します)。・ ControlSpace® Designer™ソフトウェアでCC-64が正しくプログラムされているか確認してください。ControlSpace® Designer™ソフトウェア上で、CC-64のコントロールノブに各種機能を割当ててプログラムします。・ ESP-88/ESP-00の電源が入っているか、またCC-64と同じEthernetハブに接続されているか確認してください。

Troubleshooting

<p>電源は入っているが、音が出ない</p>	<ul style="list-style-type: none">・プロジェクトによってESP-88/ESP-00内部でミュートされていないか確認してください。・オーディオソースやアンプ、その他の機器がミュートされていないか確認してください。また接続も正しく行われているか確認してください。
<p>ControlSpace® Designer™ソフトウェア上でCC-64が見当たらない</p>	<ul style="list-style-type: none">・作成したプロジェクトにCC-64が追加されているか確認してください。・ESP-88/ESP-00がCC-64を認識しているか確認してください(プロパティウィンドウ上でCC-64を確認し、また、CC-64のネットワークアドレスと一致しているか確認してください)。

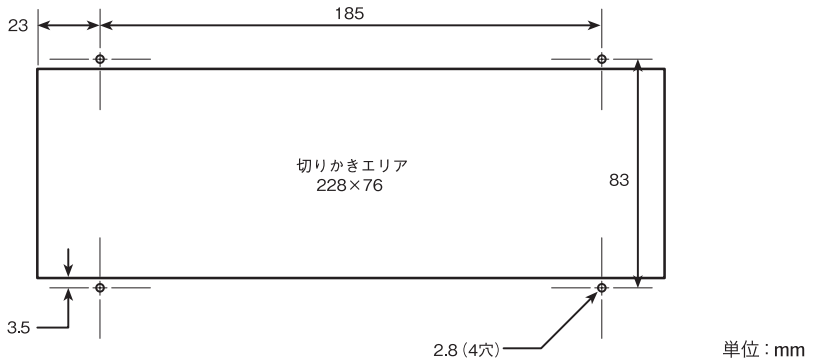
Reference

お手入れについて

外装の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどい時は、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布で拭き、その後乾いた布で拭き取ってください。科学ぞうきんなどをお使いになる場合は、その注意書きもご参照ください。

取付パネルの開口寸法について

CC-64をラックや演壇、その他の什器などに取り付けるには、初めに適当なパネルにマウントします。CC-64をマウントするパネルへは、下の寸法図に沿って長方形の穴をくり抜き、4つのネジ穴を空けてください(詳細は14ページの仕様をご確認ください)。



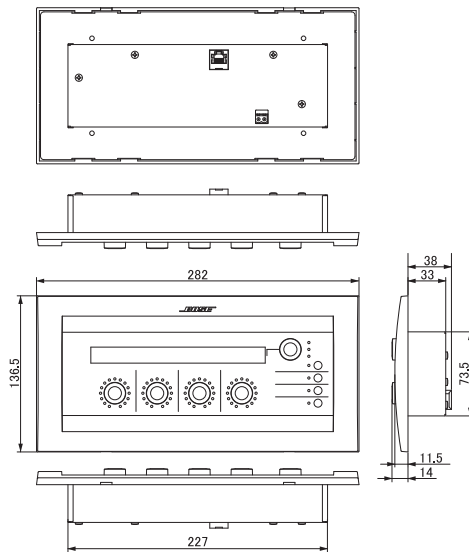
Reference

仕様

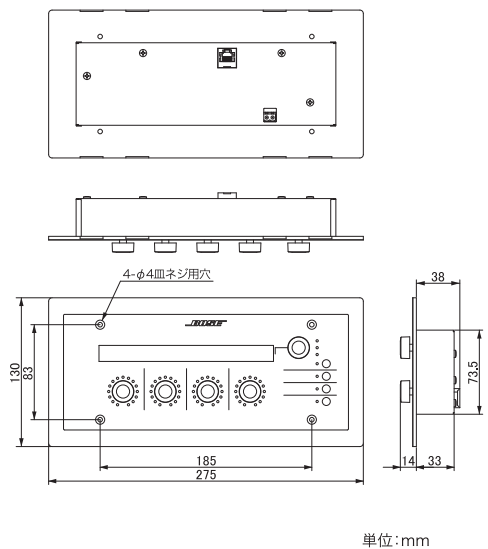
電源電圧必要条件	15 ~ 24VDC / 300mA以上 ※アダプター直接(ユーロブロック)またはEthernetケーブル経由(RJ45)で供給
端子部 外形寸法	RJ45端子(10BASE-T)、ユーロブロック端子(電源アダプター接続用) 282(W)×136.5(H)×52(D) mm 227(W)×73.5(H)×38(D) mm(フロントパネル裏面から突起部先端)
質量	約730g
付属品	CAT-5 LANケーブル(2m)×1、ユーロブロックコネクタ(2ピン)×1 取付ネジ(#6-32インチサイズ)×4

寸法図

フロントパネル装着時



フロントパネル取外し時




保証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

お問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせ先

ボーズ株式会社 サービスセンター


お客様専用ナビダイヤル  0570-080-023

PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-1124へおかけください。

〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル

製品等のお問い合わせ先

ボーズ株式会社 ユーザーサポートセンター

お客様専用ナビダイヤル  0570-080-021

PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。

ボーズ株式会社 <http://www.bose.co.jp/>
〒150-0036 東京都渋谷区南平台町16-17 渋谷ガーデンタワー5階

BOSE
Better sound through research

-
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
 - 弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご了承ください。